

ポルトガル語版
PORTUGUÊS

あや むさし がくしゅうちょう
『彩と武蔵の学習帳』



かくきょうか がくしゅうないようへん こくご
各教科の学習内容編 <国語>
じほんやくつき
《ローマ字と翻訳付》

“CADERNO DE ESTUDOS AYA & MUSASHI”

Seção de disciplinas da escola: Língua Japonesa

《Com japonês romanizado e tradução》

埼玉県教育委員会



あや むさし がくしゅうちょう
『彩と武蔵の学習帳』

もくじ
目次

だい せつ かくきょうか がくしゅうないようへん
第3節 各教科の学習内容編

こくご
〈国語〉

1. 「は」「を」「へ」をつかってかこう……………	1
2. しゅごとじゅつご（主語と述語）……………	3
3. くわしくすることば……………	4
4. まる・てん・かぎ……………	5
5. ローマじ表……………	6
6. ローマじのきまり……………	7
7. ぶんとぶんのつながり……………	8
8. はんたいのいみのことば……………	9
9. かんじのなりたち……………	10
10. かんじのかきじゅん……………	11
11. やさしいかんじ……………	12
12. おぼえておきたいことば……………	16
13. 言語の単位……………	19
14. 文の成分……………	19
15. 単語のいろいろ……………	19
16. 活用のない自立語……………	20
17. 学習用語……………	20

第3節 各教科の学習内容編

Capítulo 3 Conteúdo estudado em cada disciplina

〈国語〉 Kokugo (Língua Japonesa)

1 「は」「を」「へ」をつかってかこう (Vamos escrever usando “wa”, “wo” e “e”.)

(1) わたし は みる。

Watashi wa miru.

(Eu vejo.)

テレビ を みる。

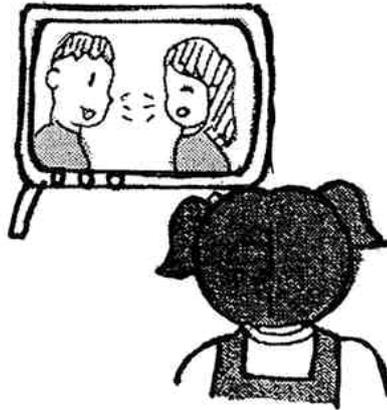
Terebi wo miru.

(Vejo televisão.)

わたし は テレビ を みる。

Watashi wa terebi wo miru.

(Eu vejo televisão.)



(2) ぼく は いく。

Boku wa iku.

(Eu vou.)

うみ へ いく。

Umi e iku.

(Vou ao mar.)

ぼく は うみ へ いく。

Boku wa umi e iku.

(Eu vou ao mar.)



「は」「を」「へ」をつかってぶんをつくりましょう。

(Vamos usar “wa”, “wo” e “e” para formar frases.)

	は		を		。
	は		へ		。

(3) 「わ」と「は」

“Wa” to “wa”

(As duas formas de “wa”: わ e は)

わに は かわ に います。

Wani wa kawa ni imasu.

(Tem um jacaré no rio.)

わたし は なわとび が すきです。

Watashi wa nawatobi ga suki desu,

(Eu gosto de pular corda.)

(4) 「お」と「を」

“O” to “wo”

(As duas formas de “o”: お e を)

かお を あらいます。

Kao wo araimasu.

(Lavo o rosto.)

おにごっこ を します。

Onigokko wo shimasu.

(Brinco de pega-pega.)

おむすび を たべます。

Omusubi wo tabemasu.

(Como um bolinho de arroz.)

(5) 「え」と「へ」

“E” to “e”

(As duas formas de “e”: え e へ)

えき へ おとうさん を むかえ に いきます。

Eki e otôsan wo mukae ni ikimasu.

(Vou buscar o meu pai na estação.)

へや の なか へ はいろう。

Heya no naka e hairô.

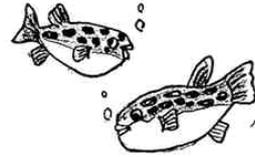
(Vamos entrar no quarto.)

2 しゅごとじゅつご (主語と述語) (Sujeito e predicado)

しゅご shugo (sujeito)

じゅつご jutsugo (predicado)

(1) さかな が
Sakana ga
(O peixe
およぐ。
oyogu.
nada.)



(2) ボール は
Bôru wa
(A bola é
まるい。
marui.
redonda.)



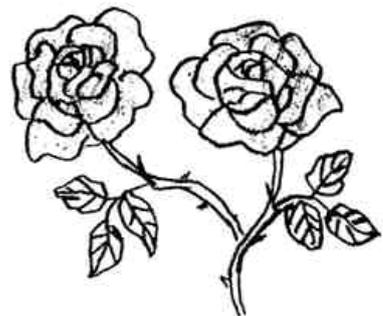
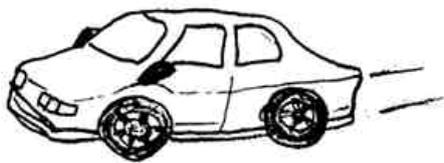
(3) あかちゃん が、
Akachan ga,
(O bebê
なく。
naku.
chora.)



(4) ぼく は
Boku wa
(Eu sou
しょうがくせいだ。
shôgakusei da.
aluno de escola primária.)



え を み て ぶ ん を つ くり ま し ょ う。
(Vamos fazer frases olhando para as figuras.)



- ★・主語は<なにが、なには、だれが、だれは>にあたり、述語は<どうした、どうだ、どんなだ>にあたることばです。
- ・主語と述語がそろった文にすると、言いたいことがきちんと伝わります。
 - ・絵を見て文を作ったり、主語カードと述語カードの合わせゲームをしたりすると、意欲的に取り組めるでしょう。

3 くわしくすることは (Palavras que detalham)

わたしは、たべました。
Watashi wa, tabemashita.
(Eu comi.)



わたしは、おべんとうを たべました。
Watashi wa, obentô wo tabemashita.
(Eu comi uma marmita.)

わたしは、おかあさんが つくった おべんとうを たべました。
Watashi wa, okâsan ga tsukutta obentô wo tabemashita.
(Eu comi uma marmita feita pela minha mãe.)

わたしは、おかあさんが つくった おいしい おべんとうを たべました。
Watashi wa, okâsan ga tsukutta oishii obentô wo tabemashita.
(Eu comi uma marmita deliciosa feita pela minha mãe.)

わたしは、えんそくで おかあさんが つくった おいしい おべんとうを ともだちと
いっしょに たべました。
Watashi wa, ensoku de okâsan ga tsukutta oishii obentô wo tomodachi to isshoni
tabemashita.
(Eu comi uma marmita deliciosa feita pela minha mãe na excursão junto com o meu amigo.)

- ★ 上の文では、みな同じ主語と述語が使われています。詳しくする言語をつけ足すことで、順によりわかりやすい文になります。「だれに」「なにを」「いつ」「どこで」「どんな」「どのように」にあたる文の意味を詳しくする言葉を修飾語といいます。
- 主語、述語だけの文に、修飾語を足して、文をくわしくする練習をすると語彙が広がります。

4 まる・てん・かぎ (Ponto final, vírgula, aspas)

(1) まる(。)は、ぶんの おわりを あらわす。
(O ponto final japonês “。” indica o final da oração.)

(2) てん(、)は、ぶんの いみの きれめを あらわす。
(A vírgula japonesa “、” indica uma pausa dentro da oração.)

(3) かぎ(「」)は、かいわを あらわす。
(As aspas japonesas “「」” indicam um diálogo.)

わたしは、しゅくだいを してから、ピアノの れんしゅうを しました。
Watashi wa, shukudai wo shite kara, piano no renshû wo shimashita.
(Depois de fazer a lição de casa, eu pratiquei piano.)

「がんばったね。とても じょうずに なったよ。」
“Ganbatta ne. Totemo jôzu ni natta yo.”
(“Você deu o seu melhor. Melhorou bastante.”)

と、おかあさんが いいました。
To, okâsan ga iimashita.
(Disse a minha mãe.)



★・「」は会話のほかに、書名、引用、心の中で思ったことなどを表す時にも使います。
・中点(・)は言葉をならべる時、ダッシュ(—)は説明を補う時や、文末を途中で止める時などに使います。

ひょう
5 ローマじ表
 (Tabela com alfabeto latino)

大文字	A	I	U	E	O			
	あ a	い i	う u	え e	お o			
K	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
S	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
T	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちよ tyo [cho]
N	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
H	は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
M	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
Y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
R	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
W	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) <wo>			
	ん n							
G	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
Z	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
D	だ da	ぢ (zi) [di] [ji]	づ zu [du]	で de	ど do	ぢゃ zya [ja]	ぢゅ zyu [ju]	ぢょ zyo [jo]
B	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
P	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

★ローマ字を知っていると、コンピュータやワードプロセッサを使う時、便利です。ただし、「ぢ」は「DI」、「づ」は「DU」、「を」は「WO」、「ん」は「NN」と打ちます。

6 ローマじのきまり (Regras do alfabeto latino)

(1) 3もじで あらわす おん (Sons expressos por 3 letras)

toshokan tosyokan	としよかん	(biblioteca)
otya ocha	おちゃ	(chá)

(2) のばす おん (Sons longos)

otôsan	おとうさん	(pai)
onîsan	おにいさん	(irmão mais velho)

(3) つまる おん (Sons oclusivos)

shippo sippo	しっぽ	(rabo)
kitte	きって	(selo)

(4) はねる おん(ん)と つなぎの おんを きりはなす (Separar sons ligados ao som do "n")

ton'ya	とんや	(atacadista)
sen'ji	せんい	(fibra)

(5) おおもじ(A) こもじ(a) (Letra maiúscula (A) e letra minúscula (a))

Hokkaidô	ほっかいどう	(Hokkaido)
Sakai Yuri	さかいゆり	(Yuri Sakai)

(6) ふたつの かきかた (Duas formas de escrever)

miti michi	みち	(caminho)
------------	----	-----------

- ★ ・ローマ字は日本語の発音を表すために使われます。
- ・ローマ字で書かれたものを集めると、ローマ字に関心を持ちます。
- ・地名など、全部大文字で書くこともあります。TÔKYÔ
- ・名前などの言葉をつなぐ印として「—」を付けることもあります。Sakai—Yuri

7 ぶんとぶんのつながり (Ligação de duas orações)

せつぞくご (ぶんと ぶんを つなぐ)

(**Conjunção**): Junta uma oração na outra.)

ねつが だた。 **だから**、がっこうを やすんだ。

Netsu ga deta. **Dakara**, gakkô wo yasunda.

(Tive febre. **Por isso**, faltei a escola.)

いもうとが、かいだんから おちた。 **しかし**、けがは しなかった。

Imôto ga, kaidan kara ochita. **Shikashi**, kega wa shinakatta.

(Minha irmã mais nova caiu da escada, **mas** não se machucou.)

うみに いきますか。 **それとも**、やまに いきますか。

Umi ni ikimasu ka. **Soretomo**, yama ni ikimasu ka.

(Vai ao mar **ou** vai às montanhas?)

しじご (まえに でてきた ことや ぶんを さす)

(**Pronome demonstrativo**): Refere-se a algo citado anteriormente.)

うみで いしを ひろった。 **その** いしは、しろくて まるい。

Umi de ishi wo hirotta. **Sono** ishi wa, shirokute marui.

(Peguei uma pedra no mar. **Essa** pedra é branca e redonda.)

きのう、どうぶつえんに いった。 **これは**、そのときの しゃしんだ。

Kinô, doubutsuen ni itta. **Kore wa**, sono toki no shashin da.

(Ontem fui ao zoológico. **Esta** é uma foto desse dia.)

★・順接、逆接の接続語以外にも、様々な接続語があるので、いっしょにみつけましょう。

(それから、それで、ところが、でも、など)

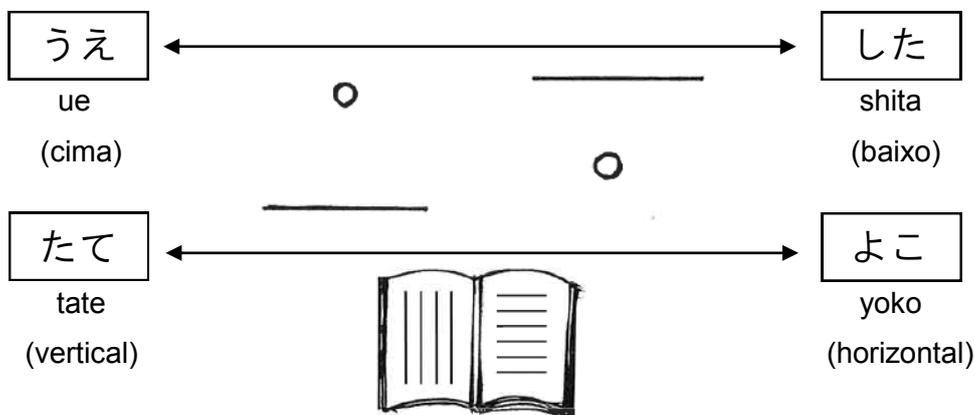
- ・「こそあど言葉」は指示語であり、それを使うことにより、同じ言葉の繰り返しを避けることができます。

8 はんたいのいみのことば
(Palavras com significado contrário)

(1) ほうこうやかんけい

Houkou ya kankei

(Direções e relacionados)



(2) ひとやものごとのうごき

Hito ya monogoto no ugoki

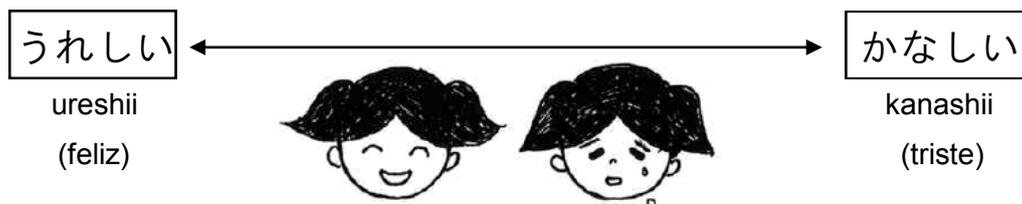
(Movimentos de pessoas e coisas)



(3) ようすやせいしつ

Yôsu ya seishitsu

(Aparência e personalidade)



★・色々なことばの反対語を集めて、語彙を増やすとよいです。動作を取り入れると、効果的です。
・会話のページの様子を表す言葉も関連して指導できます。

9 かんじのなりたち (A origem do kanji)

かんじは いまから 3000ねん いじょうも まえに ちゅうごくで できました。
はじめは かんたんな えもじで あらわしていましたが だんだん へんかして いまの ような
かたちに なりました。

(Os caracteres “kanji” foram criados na China há mais de 3 mil anos. A princípio, representavam figuras simples, mas foram se transformando até chegarem às formas que temos hoje.)

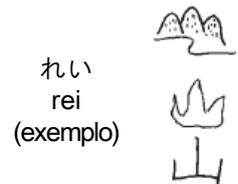
て あしを ひろげて、おおきい
Te ashi wo hirogete, ôkii
(Esticando os braços e as pernas: grande)



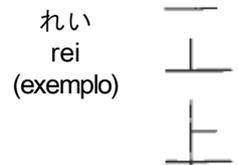
大^{おお} | · · よみがな yomigana
き | · · おくりがな okurigana

よみかた	
大	
(訓)	(音)
お	ダイ
お	イ
大男	大臣

(1) ものの かたちや ようすを えがいた えもじを かんたんに したものの。
(Kanjis que simplificam desenhos de formas e dos estados das coisas.)



(2) えに しにくい ことを するしなどで あらわした もの。
(Kanjis de coisas difíceis de desenhar sendo representadas por símbolos.)



(3) かんじの いみを くみあわせて できた もの。
(Kanjis formados com a junção de significados de outros kanjis.)

れい 休 (descansar) → 人 (pessoa) + 木 (árvore)
rei 人が木の下で休む (pessoa descansando sob a árvore.)
(exemplo) 鳴 (canto de animais) → 口 (boca) + 鳥 (pássaro)
鳥が鳴く様子 (aparência de um pássaro cantando)

(4) おんを あらわす ぶぶんと いみを あらわす ぶぶんを あわせて できたもの。
(Kanjis que juntam partes que expressam o som e partes que expressam o significado.)

れい 清 (purificar)
rei 氵 (さんずい) は水の意味 (氵 significa água.)
(exemplo) 青はセイと読み、音を表す (青 tem a leitura de “sei”, expressando a leitura do kanji.)

10 かんじのかきじゅん (Ordem de escrita do kanji)

かんじのかきじゅんには つぎの ような きまりが あります。
(Os kanjis têm as seguintes regras de ordem de escrita:)

- (1) うえから したへ
(De cima para baixo)

さん
三 → 一 = 二 三

- (2) ひだりから みぎへ
(Da esquerda para a direita)

かわ
川 → 丩 川 川

- (3) よこせんから たてせんへ
(Traços horizontais primeiro e verticais depois)

とお
十 → 一 十

- (4) まんなかから さゆう (左右) へ
(Do centro para os lados)

しょう
小 → 丩 小 小

- (5) そとがわから うちがわへ
(De fora para dentro)

どう
同 → 丨 冂 冂 同 同 同

- (6) たてにつきぬけるせんは さいご
(O traço vertical que corta vem por último)

なか
中 → 丨 冂 口 中

- ★・漢字を書くときは、上のような原則があることを知らせ、書き順に気をつけながら書くように指導します。
・発展として、漢和辞典（漢字辞典）の使い方についても触れ、漢字辞典を使いながら漢字の組み立て【かんむり】【あし】【にょう】【たれ】【かまえ】についても指導できるとより理解が深まります。

11 やさしいかんじ (Kanjis fáceis)

ひと hito pessoa

人	ひと	hito	pessoa
男	おとこ	otoko	homem
女	おんな	onna	mulher
子	こ	ko	criança
父	ちち	chichi	pai
母	はは	haha	mãe
兄	あに	ani	irmão mais velho
弟	おとうと	otôto	irmão mais novo
姉	あね	ane	irmã mais velha
妹	いもうと	imôto	irmã mais nova
自分	じぶん	jibun	si mesmo
親	おや	oya	pais
友だち	ともだち	tomodachi	amigo
外国人	がいこくじん	gaikokujin	estrangeiro
日本人	にほんじん	nihonjin	japonês

しぜん shizen natureza

日	ひ	hi	sol
月	つき	tsuki	lua
山	やま	yama	montanha
川	かわ	kawa	rio
空	そら	sora	céu
雲	くも	kumo	nuvem

水	みず	mizu	água
海	うみ	umi	mar
天気	てんき	tenki	tempo (clima)
雨	あめ	ame	chuva
風	かぜ	kaze	vento
木	き	ki	árvore
林	はやし	hayashi	bosque
森	もり	mori	floresta
草	くさ	kusa	mato
花	はな	hana	flor
田	た	ta	arrozal
土	つち	tsuchi	terra
火	ひ	hi	fogo
石	いし	ishi	pedra
星	ほし	hoshi	estrela

いち・ほうこう

ichi・hōkō

posição・direção

上	うえ	ue	cima
下	した	shita	baixo
中	なか	naka	dentro
外	そと	soto	fora
右	みぎ	migi	direita
左	ひだり	hidari	esquerda
前	まえ	mae	frente
後ろ	うしろ	ushiro	atrás

東	ひがし	higashi	leste
西	にし	nishi	oeste
南	みなみ	minami	sul
北	きた	kita	norte

うごき ugoki ações

休む	やすむ	yasumu	descansar
見る	みる	miru	ver
出る	でる	deru	sair
入る	はいる	hairu	entrar
立つ	たつ	tatsu	levantar
引く	ひく	hiku	puxar
歌う	うたう	utau	cantar
帰る	かえる	kaeru	ir embora
言う	いう	iu	dizer
考える	かんがえる	kangaeru	pensar
行く	いく	iku	ir
作る	つくる	tsukuru	fabricar
止まる	とまる	tomaru	parar
思う	おもう	omou	pensar
書く	かく	kaku	escrever
食べる	たべる	taberu	comer
切る	きる	kiru	cortar
走る	はしる	hashiru	correr
歩く	あるく	aruku	caminhar

来る	くる	kuru	vir
話す	はなす	hanasu	falar
読む	よむ	yomu	ler
答える	こたえる	kotaeru	responder
買う	かう	kau	comprar
遊ぶ	あそぶ	asobu	brincar
起きる	おきる	okiru	acordar

ようす yôsu aparência

大きい	おおきい	ôkii	grande
小さい	ちいさい	chiisai	pequeno
早い	はやい	hayai	cedo
強い	つよい	tsuyoi	forte
新しい	あたらしい	atarashii	novo
明るい	あかるい	akarui	claro
多い	おおい	ôi	numeroso
少ない	すくない	sukunai	pouco
近い	ちかい	chikai	perto
太い	ふとい	futoi	grosso
楽しい	たのしい	tanoshii	divertido
高い	たかい	takai	alto, caro
広い	ひろい	hiroi	espaçoso
長い	ながい	nagai	comprido
正しい	ただしい	tadashii	correto

12 おぼえておきたいことば
(Palavras que é bom aprender)

あらすじ arasuji
ものがたりなどの だいたいの ないようのこと。
(Resumo: síntese do conteúdo de uma história.)

おんどく (音読) ondoku
こえに だして よむこと。
(Leitura em voz alta.)

かいわ (会話) kaiwa
じんぶつが はなしたこと。 ※かくときは「 」をつける。
(Diálogo: as falas dos personagens. *Escreve-se os diálogos dentro dos símbolos 「 」.)

だんらく (段落) danraku
ぶんしょうの なかでの ないようの まとまり。
(Parágrafo: conjunto de conteúdo relacionado dentro de uma texto.)

とうじょうじんぶつ (登場人物) tōjōjinbutsu
ものがたりに でてくる にんげんや どうぶつ。
(Personagem: pessoas e animais que aparecem na história.)

ぶん (文) bun
まとまった いみをもつ ひとまとまりの ことば。 ※おわりに (。.)をつける。
(Oração: conjunto de palavras que formam um sentido. *É finalizada pelo símbolo (。).)

ぶんしょう (文章) bunshō
かきての かんがえで まとめられた いみをもつ ぶんの あつまり。
(Texto: conjunto de orações que formam um sentido e expressam o pensamento do autor.)

ばめん (場面) bamen
ものがたりで あることが おこなわれている ひとまとまりの ぶぶん。
(Cena: parte da história na qual acontece algo.)

ぎだい (議題) gidai
かいぎのばで とりあげて はなしあう ことがら わだい。
(Tema da discussão: tema ou assunto sobre o qual é discutido em uma reunião.)

きょうつうご (共通語) kyōtsūgo
ぜんこく どのちほうの ひとにも つうじることば。
(Língua comum: língua compreendida pelas pessoas de qualquer região do país.)

こうせい（構成） kôsei

ぶんや だんらくが どういう かんけいで むすびつき ぶんしょう ぜんたいを つくって
いるかと いうこと。

(Estrutura: como estão ligadas as orações e os parágrafos para formar o texto de forma geral.)

しじご（指示語） shijigo

ものごとの ばしょ ほうこう ようすなどを さししめす ことば。

(Pronome demonstrativo: palavras que indicam o lugar, direção, situação, etc.)

ぶんご（文語） bungo

かきことばの なかに のこっている ことば。

(Linguagem escrita: palavras usadas na forma escrita.)

ほうげん（方言） hōgen

そのちほう どくとくの ことば。

(Dialeto: língua característica de uma região.)

ようし（要旨） yōshi

その ぶんしょうぜんたいで ひっしやが のべようと する おもな ないよう。

(Resumo: conteúdo principal que o autor quer comunicar pelo texto na sua totalidade.)

こそあどことば kosoado kotoba

「これ」「それ」「あれ」「どれ」などのように はじめに「こ・そ・あ・ど」がついている
ことば。ものごとや ばしょ ほうこう ようすなどを さししめす。

(Palavras iniciadas por “ko”, “so”, “a” e “do”: indicam os lugares e a direção das coisas, estado, etc.)

こみだし（小見出し） komidashi

ひとつの ぶんしょうを いくつかに わけて それぞれに つける だい。

(Subtítulo: títulos de cada parte de um texto dividido.)

さくいん（索引） sakuin

ほんの おわりにあり とりあげてある ことがらが どの ページに あるかを せいりしたもの。

(Índice de assuntos: parte no fim do livro que organiza por páginas onde cada assunto é tratado.)

じゅくご（熟語） jukugo

ふたつじょうの かんじが くみあわさって できた ことば。

(Palavra composta: palavra formada pela junção de dois ou mais kanjis.)

もくじ（目次） mokuji

ほんの はじめにあり ないようの みだしが ページじゅんに ならべてあるもの。

(Índice: parte no início do livro que lista os títulos dos conteúdos divididos por página.)

ようす（様子） yôsu

じんぶつの したことや いったこと みなり かおつき まわりの できごとなど。

(Estado: coisas feitas ou ditas por alguém, sua aparência, feição, acontecimentos ao seu redor, etc.)

かんご（漢語） kango

かんじを 「おん」で よんだ ことば。（例 上下・・・ジョウゲ）

(Palavra de origem chinesa: palavra formada por kanjis com leitura “on” <leitura de origem chinesa>. Por exemplo: 上下 jôge = cima e baixo.)

わご（和語） wago

もともと にほんに あった ことば。（例 上下・・・うえした）

(Palavra de origem japonesa: palavra que existia originalmente no Japão. Por exemplo: 上下 ueshita = cima e baixo.)

けいご（敬語） keigo

ききてや わだいに なっている ひとに けいいをあらわす ひょうげん。ていねいご そんな けいご けんじょうごに わかれる。

(Linguagem formal: expressões que demonstram respeito ao interlocutor ou ao tema tratado. É dividida em *teineigo* <linguagem polida>, *sonkeigo* <linguagem de respeito> e *kenjôgo* <linguagem de modéstia>.)

しんじょう（心情） shinjô

とうじょうじんぶつが かんじたり おもったり かんがえたり したこと。

(Sentimento: coisas que os personagens sentiram, acreditaram, pensaram, etc.)

とうろん（討論） tôron

ある もんだいについて いけんを だしあい ぎろんを たたかわせること。

(Debate: confronto de opiniões e discussões sobre algum problema.)

たんか（短歌） tanka

五・七・五・七・七の 三十一おんから なる にほんとかゆうの みじかいし。

(Tanka: poesia curta tradicional japonesa composta por 31 sons divididos em versos de 5, 7, 5, 7 e 7 sons.)

はいく（俳句） haiku

五・七・五の 十七おんからなり きせつを あらわす 「きご」を いれた にほんとかゆうの みじかいし。

(Haiku: poesia curta tradicional japonesa com “kigo” <palavras que se referem a alguma estação do ano> composta por 17 sons divididos em versos de 5, 7 e 5 sons.)

げんご たんい
13 言語の単位

(Elementos linguísticos)

句点	くてん	kuten	ponto final
形式段落	けいしきだんらく	keishiki danraku	parágrafo
疑問符	ぎもんふ	gimonfu	sinal de interrogação
感嘆符	かんとんふ	kantanfu	sinal de exclamação
文節	ぶんせつ	bunsetsu	cláusula

↳ (文の中の一區切り) (uma divisão dentro da oração)

単語	たんご	tango	palavra
----	-----	-------	---------

ぶん せいぶん
14 文の成分

(Elementos da oração)

主語	しゅご	shugo	sujeito
述語	じゅつご	jutsugo	predicado
修飾語	しゅうしょくご	shûshokugo	qualificativo
体言	たいげん	taigen	palavras indeclináveis

↳ (主語になれるものの名前) (palavras que podem virar sujeito)
(substantivos, pronomes)

用言	ようげん	yôgen	palavras declináveis
↳ (動作や様子を表すことば)		(palavras que expressão ação ou estados)	

接続語	せつぞくご	setsuzokugo	conjunções
↳ (語句や文をつなぐことば)		(palavras que ligam outras palavras ou frases)	

独立語	どくりつご	dokuritsugo	palavra independente
↳ (一つだけで働くことば)		(palavra que tem função independente de outras)	

たんご
15 単語のいろいろ

(Relacionados às palavras)

活用	かつよう	katsuyô	conjugação
自立語	じりつご	jiritsugo	palavras independentes
↳ (一つで文節をつくることば)		(palavras que podem formar uma sentença sozinhas)	

付属語	ふぞくご	fuzokugo	aposto
↳ (自立語の後につくことば)		(palavras acompanhadas de palavras independentes)	

名詞	めいし	meishi	substantivo
副詞	ふくし	fukushi	advérbio
接続詞	せつぞくし	setsuzokushi	conjunção
感動詞	かんだうし	kandôshi	interjeição
動詞	どうし	dôshi	verbo
形容詞	けいようし	keiyôshi	adjetivo

形容動詞	けいようどうし	keiyôdôshi	adjetivo-verbo
助詞	じょし	joshi	partícula
助動詞	じょどうし	jodôshi	verbo auxiliar
品詞	ひんし	hinshi	elementos da frase
季語	きご	kigo	palavras relacionadas às estações do ano

↳ (俳句などで季節をあらわすことば)

(palavras usadas no haiku que expressam as estações do ano)

対義語	たいぎご	taigigo	antônimo
類義語	るいぎご	ruigigo	sinônimo
多義語	たぎご	tagigo	palavra com muitos significados
語幹	ごかん	gokan	radical da palavra
自動詞	じどうし	jidôshi	verbo intransitivo
他動詞	たどうし	tadôshi	verbo transitivo
接頭語	せつとうご	settôgo	prefixo
接尾語	せつびご	setsubigo	sufixo

16 活用のない自立語

(Palavras independentes sem declinação)

普通名詞	ふつうめいし	futsû meishi	substantivo comum
固有名詞	こゆうめいし	koyû meishi	substantivo próprio
代名詞	だいめいし	daimeishi	pronome
数詞	すうし	sûshi	numeral
形式名詞	けいしきめいし	keishiki meishi	pseudo-substantivo
順接	じゅんせつ	junsetsu	conjunção consecutiva
逆接	ぎゃくせつ	gyakusetsu	conjunção adversativa
転換	てんかん	tenkan	conversão
要約	ようやく	yôyaku	resumo
補足	ほそく	hosoku	complemento
感動	かんだう	kandô	emoção
応答	おうとう	ôtô	resposta
呼びかけ	よびかけ	yobikake	chamada

17 学習用語

(Palavras usadas nos estudos)

朗読	ろうどく	rôdoku	leitura em voz alta
論理	ろんり	ronri	lógica
感想	かんそう	kansô	impressões

筆者	ひっしや	hissha	} autor
作者	さくしや	sakusha	
著者	ちよしや	chosha	
古文	こぶん	kobun	literatura clássica
↳ (江戸時代までの日本語の文) (literatura japonesa até a era Edo)			
漢文	かんぶん	kanbun	literatura clássica escrita só com caracteres chineses
↳ (中国から伝わった漢字だけの文) (literatura escrita com kanjis vindos da China)			
起承転結	きしょうてんけつ	kishōtenketsu	estrutura do texto (introdução, desenvolvimento, virada, conclusão)
↳ (文章や物語のはじめ・経過・展開・終わり) (partes do texto: introdução, desenvolvimento, virada, conclusão)			
歴史的仮名遣い	れきしてきかなづかい	rekishiteki kanazukai	uso de letras kana em textos antigos
↳ (古文による仮名の使い方) (modo de uso de letras de kana na literatura clássica)			
音便	おんびん	onbin	eufonia
比喩	ひゆ	hiyu	metáfora
慣用句	かんようく	kan'yōku	expressão idiomática
推敲	すいこう	suikō	retoque
紀行文	きこうぶん	kikōbun	diário de viagem
論説文	ろんせつぶん	ronsetsubun	editorial
解説文	かいせつぶん	kaisetsubun	explicação
風刺	ふうし	fūshi	sátira
描写	びょうしゃ	byōsha	descrição
引用	いんよう	in'yō	citação
ディスカッション		disukasshon	discussão
ディベート		dibêto	debate
イントネーション		intonêshon	entonação
コミュニケーション		komyunikêshon	comunicação

【平成14年度発行】

1 作成協力委員(所属及び職名は平成14年度による)

委員長	山下 武彦	(本庄市立中央小学校 校長)
副委員長	長谷川 浩	(さいたま市立常盤中学校 教頭)
委員	石橋 裕	(戸田市立戸田中学校 教諭)
委員	加藤 明美	(川口市立戸塚中学校 教諭)
委員	中島 敏也	(飯能市立飯能第一小学校 教諭)
委員	松崎 仁子	(東松山市立松山第一小学校 教諭)
委員	中井 健一	(小鹿野町立小鹿野小学校 教諭)
委員	下山美代子	(本庄市立本庄西小学校 教諭)
委員	清水 孝彦	(深谷市立上柴西小学校 教諭)
委員	小宮 豊隆	(行田市立長野中学校 教諭)
委員	新井てる子	(岩槻市立東岩槻小学校 教諭)
委員	石田 耕一	(埼玉大学教育学部附属中学校 教諭)
委員	阿久津一浩	(さいたま市教育委員会 主任指導主事)
委員	豊田 尚正	(北部教育事務所 主任指導主事)
委員	本木 正和	(県立蕨高等学校 教諭)
委員	須田 康子	(県立戸田高等学校 教諭)
委員	松尾 恭子	(社団法人国際日本語普及協会 日本語教師)
委員	小玉 安恵	(国際交流基金日本語国際センター 専任講師)

2 翻訳協力者等(職名は平成14年度による)

<中国語>	白 香 ・ 瀬尾 圓 ・ 高木延峰 ・ 李 莉
<ポルトガル語>	セルジオ 馬場 (指導課国際交流員)
<スペイン語>	リリアナ 中村 (指導課国際交流員)
<英語>	ジュリー ナン (指導課国際交流員)

笠間 進 (指導課支援アドバイザー)

3 資料提供等(教科書の図版) ※敬称略

(1)<日常生活・国語>

- 国際交流基金日本語国際センター「日本語かな入門」
- さいたま市教育委員会 指導教材「はじめくとまりちゃんのにほんごきょうしつ」

(2)<社会>

- 沖縄県平良市教育委員会 副読本「ひらら」
- 岩槻市教育委員会 社会科副読本「いわつき」小3・4年
- 東京書籍(株) 教科書「新しい社会」小3・4年、他21件
- (株)中央社 副読本「わたしたちの郷土 さいたま」埼玉県全県地図
- (株)文溪堂 社会資料集 6年「調べ 考え 好きになる」
- 青葉出版(株)東京支社 社会科作業帳 6年「日本の歴史と政治・世界」他1件
- 明治図書(株) 「最近歴史資料集」他1件
- 須貝 稔 東京書籍「新しい社会歴史」
- 江口準次 東京書籍「新しい社会6上」他1件

(3)<算数・数学>

- 岡部タカノブ 東京書籍(株)「新しい算数」小3上、他1件
- 佐藤道子 東京書籍(株)「新しい算数」小4下
- (株)新興出版社啓林館 教科書「さんすう」小1、他4件
- 東京書籍(株) 教科書「新しい算数」小3上、他5件

(4)<理科>

- 小山信吾 大日本図書(株)「中学校理科」中2上
- 東京書籍(株) 教科書「新しい理科」小3、46件
- 教育出版(株) 教科書「中学理科」中1上、他3件
- 大日本図書(株) 教科書「中学校理科」中2上

【平成18年度発行】

改訂版翻訳協力者等(所属及び職名は平成18年度による)

<中国語>	李 寧 蕓
<ポルトガル語>	アレックスandro タタジバ (義務教育指導課国際交流員)
<スペイン語>	ロベルト 津留 (高校教育指導課国際交流員)
<英語>	シェーン パトゥ (高校教育指導課国際交流員)

小岩井優里子 (義務教育指導課支援アドバイザー)

【平成31年度発行】

改訂版翻訳協力者等(所属及び職名は平成30年度による)

<中国語>	徳間 菲	(国際課)
<ポルトガル語>	メロ ワヂソン	(義務教育指導課国際交流員)
<スペイン語>	スミヒロ マリエン	(高校教育指導課国際交流員)
<英語>	クリス クレイゴ	(高校教育指導課国際交流員)

- ・義務教育指導課 教科担当指導主事
- ・北村裕美 (義務教育指導課支援アドバイザー)

